

## 別冊資料

### 宮代町立小中学校のよこがお

\*本資料は、「平成 25 年度 宮代町の教育」から抜粋、作成したものです。

## 宮代町立須賀小学校



### 1 本校の特色

- (1) 隣接する須賀中学校との連携を深め、義務教育9ヶ年を見通した一貫性のある教育活動の推進
- (2) 道徳教育を推進した望ましい生き方指導

### 2 学校教育目標

～地域と共に創る「行き甲斐、居甲斐、やり甲斐」のある学校づくり～

— 合い言葉「力いっぱい」 —

- 学ぶ子（かしこく） —確かな学力—
- やさしい子（なかよく） —豊かな心—
- 元気な子（たくましく） —丈夫な体—

#### (1) 目指す児童像（こんな子どもを育てたい）

- す・・・進んで運動し、体を鍛える子
- か・・・課題を自ら見つけ、自主的に学習する子
- し・・・集中して、話がしっかり聞ける子
- よ・・・良い判断のもと、正しい行動がとれる子
- う・・・美しさや良さに気づき、感動できる子



\*元気な子ども

#### (2) 目指す学校像（こんな学校にしたい）

- ・確かな学力を身につけさせるために授業に工夫がある学校
- ・児童一人一人に活躍の場があり、「居甲斐」「やり甲斐」のある学校
- ・教師と児童との人間的なふれあいをもとに規律のある学校
- ・安心・安全で潤いのある環境の中で、豊かな心を育てる工夫のある学校
- ・保護者、地域に信頼され、誇れる「行き甲斐」のある学校 \*元気な学校

### 3 経営方針

- (1) 学校教育目標の実現に向けて全教職員が協働して学校経営に参画し、意欲と活力に満ちた教育活動に努める。 —経営参画—
- (2) 教職員一人一人が専門職としての自覚と誇りを持って研究と修養に励み、指導力の向上に努める。 —指導力の向上—
- (3) 教職員一人一人が教育活動に意欲的に取り組み、絶えず創意・工夫を加えながら特色ある学校づくりに努める。 —創意・工夫—
- (4) 子どもの思いや意欲を大切にしながら一人一人に確かな学力を身につけさせると共に、子どもの良さや可能性を伸ばす教育の推進に努める。 —確かな学力—
- (5) 花と緑と豊かな言葉に囲まれた潤いのある清潔感溢れる美しい環境の中で安心・安全な学校づくりに努める。 —安心・安全・きれいな学校—
- (6) 学校からの発信、地域の教育力など学校・家庭・地域がそれぞれの役割を生かし連携を深めながら開かれた学校づくりに努める。 —地域と共に歩む学校—

4 本年度の取り組み（課題）

- (1) 「学習指導実践研究協力校」―道徳―としての取り組み
- (2) 小・中一貫教育推進に向けての取り組み
- (3) 「教育に関する3つの達成目標」の取り組み ―県の目標値達成―
- (4) 特別支援教育の充実
- (5) 学校応援団・学校ファームの充実・発展



5 研究課題

「生きる力をはぐくむ小中一貫教育」

～ 人とのかかわりを大切にし、

共によりよく生きようとする子どもの育成～（道徳教育を通して）

(1) 研究の内容

- 自己の生き方についての考えを深める道徳授業の創造
- 学校、家庭、地域社会が一体となった道徳教育の推進
- 小・中学校が連携した道徳教育

(2) 研究仮説

<仮説> 道徳の時間を中核として、全教育活動を通じ「人とのかかわり」を焦点化した心の教育を教科・領域等との組織的・計画的に関連を図り具体化して実践すれば、児童が自分と異なる考えに接したり、自分の考えを深めたりして、他の人の考えや立場を理解し、共によりよく生きようとする心情や態度が育つであろう。

6 教職員

(校長) 小島 明身 (教頭) 岡安 茂雄 (教務主任) 塚越 健一

(教諭) 小河原玲子 三浦 綾子 町田 結香 元島 幸子 亀田 祐輝  
 中里 佳美 星野久美子 岸 雅代 吉崎 雄太 柿沼 秀典  
 渡辺 富子 三ノ輪真人 野村 純一 笹川 夏美 鈴木 伸子  
 石村 雅弘 木下 喜子

(養護教諭) 山本 有美 (事務主任) 浦部 一男 (用務補助員) 臼井和子

(県非常勤講師) 池田 洋子

(町非常勤講師) 佐藤 優子 佐藤 淳子 嘉茂 達哉 齊藤 文絵

(町サポーター) 畑 照子 渡邊 成子

(JET) 森 朋子 (ALT) アーネスト・ガウエイ

所在地	〒345-0831 宮代町大字須賀 1425-1	児童数	学級数	教職員数	創立 記念日	開校 記念日
電話番号	0480-33-1325	451	15	32	明治6年 5月15日	4月16日

## 宮代町立百間小学校



### 1 本校の特色

- (1) 歴史と伝統、緑豊かな環境を生かした教育実践による郷土愛、愛校心の育成。
  - ・ 郷土資料館やふれ愛センター、町史跡等を活用した体験学習の推進
  - ・ 学校ファームによる全校野菜作り（勤労体験学習）の取り組み
  - ・ 米作り体験(田植え、草取り、稲刈り)
- (2) 校庭が2つある学校として、生活の中で体をきたえる子の取り組み
- (3) 交流活動の推進による豊かな心の育成
  - ・ 宮代特別支援学校や高齢者、図書ボランティアの方との交流活動の実施
  - ・ 異年齢縦割りグループ(かしの木グループ)による集会活動、清掃活動、なかよし遊び、全校縦割り遠足等の実践

### 2 学校教育目標

- (1) 学校教育目標 心豊かなたくましい児童の育成  
○進んで学ぶ子 ○やさしい子 ○たくましい子
- (2) 目指す学校
  - ・ ほめて伸ばす学校
  - ・ 楽しく安全な学校
  - ・ あいさつあふれる学校

\*児童像

  - ・ 自ら考え、判断し、正しく表現できる子
  - ・ 互いに協力し、思いやりの心の持てる子
  - ・ 進んで活動し、心身をきたえる子

### 3 経営方針

- (1) 「ほめて伸ばす」指導に徹する。
  - ①ほめることは認めることであり、児童に自信をもたせること。
  - ②結果だけをほめるのではなく、その児童の努力をほめる。
  - ③子どもの「よさ」の発見と個に応じたきめ細かな指導（少人数指導の充実）
- (2) 体験活動を重視した教育活動の推進
  - ①本校独自の教育環境を生かした体験学習の実施
  - ②奉仕的活動(ボランティア、委員会等)の奨励
- (3) 「教育に関する3つの達成目標」の推進
  - ①基礎学力「読み、書き」「計算」の達成率1%アップを目指す。
  - ②「規律ある態度」「体力」の達成率の向上
- (4) 生命の尊さ、人権尊重の教育を徹底する。
  - ①交通事故0、不登校0、いじめ0の実現
  - ②人とのふれあいを大切にする教育活動の実践
- (5) 教職員の積極的な経営参画のもとに、特色ある学校づくりに努める。
  - ①教職員一人一人の創意と工夫を大切に、常態のレベルアップを図る。
  - ②仕事に厳しく、人には優しい職場作りに努める。

- (6) 教職員の使命と専門性を自覚し、常に研鑽に励み教育的識見と指導力の向上を図る。
- (7) 安心・安全な学習環境の整備・充実に努める。
  - ①「おあしす・はい」の実践に努め、基本的な生活習慣の確立。
  - ②言語環境の整備と掲示教育の推進

#### 4 本年度の努力点

- (1) 学年・学級経営の充実—「百間小で学んでよかった」といえる学級の実現
- (2) 生徒指導の充実—学級の中に温かい人間関係を作る。
- (3) 学習指導の充実—少人数指導の充実に努め自主的・自発的な学習を促し、生き生きと学習する児童の育成に努める。
- (4) 道徳指導の充実—道徳的実践力を持った児童の育成に努める。
- (5) 学校体育の充実—健康の保持増進と体力の向上に努める。
- (6) 環境教育の推進—環境問題に気づき、考え、行動する心と態度の育成に努める。
- (7) 小中一貫教育の推進—学力向上を目指した小中連携・地域連携のあり方を前原中学校とともに、引き続き実践研究していく。
- (8) 人権教育の推進—思いやりの心を持ち、生き生きと活動できる児童の育成
- (9) 英語活動の推進—5,6年生は ALT と担任で年間 35 時間 他学年は JET と担任により年間 8 時間程の英語活動を実施し国際理解教育を推進する。

#### 5 研修課題

「心豊かにたくましく生きる児童を育てる道徳教育の研究」 4 年次  
 —人としてよりよく生きようとする児童の育成—

《研究内容》

- 効果的な資料活用と掲示の工夫
- 発問、板書、導入・終末の工夫
- 体験活動、学校行事との関連
- 道徳資料の効果的な活用
- アンケートの実施、活用
- 道徳たよりの発行、道徳コーナーの設置



#### 6 教職員（25.5.15 現在）

(校長) 内田健一 (教頭) 岡田浩 (主幹教諭) 河田栄次  
 (教諭) 服部典子 深井薫 林宏通 西澤美和 大塚理恵 森田純子  
 松本美紀 富澤孝子 片岡将司 齋藤真美子 森田実里 武藤伸幸  
 舟木豊 加藤裕一 續橋典子 高林一郎 岡崎義明 佐藤直子  
 (栄養教諭) 島村富士子 (養護教諭) 早乙女理恵 (事務主事) 安田七海  
 (学校用務員) 小林順子 (外国語指導補助員) 森朋子  
 (町非常勤講師) 藤本直子 横田奈緒美 内田美佳 鈴木まりえ  
 上野陽子 渡邊成子

所在地	〒345-0817 宮代町字西原 261	児童数	学級数	教職員数	創立年月日	開校 記念日
TEL	0480-32-0157	436	15	32	明治6年5月15日	5月15日



東小自慢の木造校舎



お琴教室

### 1 本校の特色

開校56年目となる。今年度も引き続き、特色ある学校の創造を経営の基調に据え、「本気、根気、元気」を合い言葉に教育活動を展開している。知・徳・体バランスのとれた子どもの育成を目指して、子ども達が夢と希望をもち生き生きと活動する教育を推進している。

(1) 健康教育推進校 「自分の健康は自分で維持管理できる児童の育成」を目指し、家庭・地域社会との連携を図りながら全教育活動を通じた健康教育を推進している。子ども達は「明るい笑顔で今日もいい日」を目指し、明るくさわやかにそして嬉々として教育活動に取り組んでいる。

(2) 情操教育推進校 「こころの豊かな子」の育成を目指し、全教科領域で取り組んでいる。子ども達は、自分の思いを素直な言葉で作文に書いたり、絵や工作で表現したり、俳句を創る等の体験活動を通して、周囲の変化に気づき、美しさに感動し、物事を深く考える等温かさと豊かさを増してきている。

(3) 小中一貫教育 「主体的に学び豊かに表現する児童の育成」を目指し、小中学校9年間の学びや育ちの連続性を重視した教育実践に取り組んでいる。

### 2 学校教育目標 **一自ら学ぶ子一**

- ・よく考える子 (意欲的に学ぶ子・本いっぱい・よく聞き、しっかり発表する子)
- ・いつも元気な子 (元気でやり通す子・汗いっぱい・積極的に働く子)
- ・こころの豊かな子 (思いやりのある子・友達いっぱい・共に生きることを大切にする子)

### 3 経営方針 **ミッション 「夢と希望を育む、輝く学び舎づくり」**

**合い言葉 「本気、根気、元気」**

## < 東っこ宣言 >

**1 「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」を言います 2 人をいたわり、いじわるをしません 3 がまんします 4 東小を誇り、年上を敬います 5 夢に向かってがんばります**

#### ①楽しい学びができる学校

- ・学校は学習の場 楽しい学びができる学校
- ・分かる授業、できる授業が実践されている学校

#### ②健康で楽しく運動ができる学校

- ・健康な子どもは学力も伸びる
- ・小学校で最低身につけさせなければならないことと課題
- ・歯磨き指導の充実 (ボール投げ・逆上がり・水泳2.5m)



外国語活動

#### ③友達となかよくできる学校

- ・学校はふれ合いの場「人は人の中で育つ」
- ・集団の中での存在に気を配る (常にアンテナを高くする)
- ・人間関係を調整する力を身につけさせる
- ・障がいのある子どもとのふれ合いを通じた思いやり、優しさの醸成

④安心、安全で潤いのあるきれいな学校

- ・「環境が人をつくる」雑然とした環境は豊かな心は育たない
- ・危険箇所に日々目を配る「教師の感性」
- ・危険意識を持つ「想定する」

⑤学校と家庭、地域が太い「絆」で結ばれている学校

- ・家庭の先生は親、地域の先生は地域の方々
- ・学校への協力は、学校情報の積極的な提供「保護者の安心」
- ・地域への学校情報の発信

⑥教職員が生き甲斐をもって活動している学校



元気タイム

4 本年度の重点・努力点

**学校力の更なる向上**

**つなぐ教育 「絆教育」**

■思考をつなぐ授業実践 ■明日の自分をつなぐ努力 ■人と人をつなぐ教育活動

**育てる7つの力**

1漢字力 2計算力 3合唱力 4人間力 5読書力 6集団行動力 7運動力

① 基礎基本の定着と発展的な学習の充実

「できる・わかる授業（少人数指導等の工夫）」 「学力調査の分析・活用」  
「チャレンジタイムの充実」 「体験学習の充実」

② 確かな体力の向上と健康安全教育の充実

「一人一人に達成感のある授業（努力が実を結ぶ達成感）」  
「新体力テスト結果の分析・活用」 「集団行動の指導の充実」  
「重点項目の設定（ボール投げ・逆上がり・二重跳び・泳力2.5m）」

③ 感動のある道德教育の実践と体験活動の充実（＝人間力の向上）

「彩の国の道德の積極的な活用」 「読書の奨励」  
「読み語りの会（カンガルーのぼっけ）による読書活動」  
「あいさつ・返事」 「すこやか賞の奨励」 「合唱を通しての学年・学級作り」

5 研修課題 「生きる力を身につけ、未来を拓く東の子の育成」－3年次－

～ 豊かな心を育む指導のあり方を求めて（道德を中心として）～  
（平成25年度 宮代町教育委員会研究委嘱）

6 教職員

（校長）白石 薫 （教頭）相良三喜男

（教諭）佐々木秀年 舘万里子 松本真弓 遠藤真里 西谷かおり 竹本美子  
宇佐美麻紀子 岡田正枝 阿島江利 吉野 章 栗原 舞 田中いづみ  
三浦洋介 野平早苗 石塚正弘 山田真大 稲生沙弥嘉

（養護教諭）山内綿菜 長瀬亜耶 （事務主幹）横溝富士夫

（初任者対応）長澤大介 岩田智江 （小1問題対応）田口いくよ

（町非常勤講師）立石めぐみ 成瀬淳一 デビッドマクドウェル

（学校用務員）新井照美 （スクールガードリーダー）伊藤英雄

所在地	〒345-0801 宮代町百間 5-8-48	児童数	学級数	教職員数	創立年月日	開校記念日
電話番号	0480-32-0214	278	13	30	昭和33年4月1日	4月18日



# 宮代町立笠原小学校



## 1 本校の特色

「学校はまち」「教室はすまい」「学校は思い出」の三つのコンセプトより造られた特色ある施設を利用し、子どもたちは、感性や個性を伸ばし、さらに夢を育むため、花語り、風と歌い、鳥と遊ぶ、楽しく夢のある学校づくりを目指している。

## 2 教育理念 「あいさつ」・「ありがとう」が「あふれる」笠原小学校教育の創造 合い言葉 「知恵を合わせ、いま鍛える」：「夢中」

- (1) 教育は、「人格の完成」目的とし、学校における全ての教育活動が、その高い想の実現へ向けた弛まぬ道筋である。
- (2) 学校教育は、児童一人一人の学ぶ権利を保障し、未来への可能性の開花に向け全教職員の創意で実現していく営みである。
- (3) 学校教育は、地域・保護者・学校が「子どもたちのために何ができるか」を共通理解・共通行動の根幹に据え、総意を結集し活動していく過程である。

## 3 学校教育目標 「自分を創る子」

- ◇自ら学ぶ子 ①自分の好きな勉強が出来る
- (本は知恵の友だち) ②自分の好きな本を紹介できる
- ◇心豊かな子 ③進んで「あいさつ」「ありがとう」が言える
- (花は心の友だち) ④学校をきれいにするために決めたことを実行する
- ◇たくましい子 ⑤自分のめあてを達成するために最後まで頑張る
- (風は光る友だち) ⑥自分の命や安全は自分で守る

## 4 経営方針

- (1) 目指す学校像
  - ①子ども一人一人が主体的に学び、変容する学校
  - ②教職員が専門職としての使命感をもって、質の高い学びを実現する学校
  - ③地域・保護者との絆を強め、共に協力し合える学校
- (2) 目指す子ども像「自分を創る子」…共に学び・気づき・考え・実行する子どもの育成
  - ◇自ら学ぶ子 (本は知恵の友だち) →夢中で学ぶ子があふれる学校
    - ①誠実で進んで学ぶ子 ②学んだことを活かし友達と知恵を合わせて解決する子
    - ③思いや考えを豊かに表現する子 ④本を大事にする子
  - ◇心豊かな子 (花は心の友だち) →人・自然・環境を大切にする心の優しい子が学校
    - ①「あいさつ」、「ありがとう」が言える子 ②他を思いやり、耳を傾けられる子
    - ③自然の恵みや不思議に関心をもって行動する子
    - ④約束を守り、よいと思ったことを自ら実行する子
    - ⑤家族や地域を大切にして生活する子
  - ◇たくましい子 (風は光る友だち) →最後まであきらめず頑張る子があふれる学校
    - ①めあてに向かってあきらめず「今を夢中」でがんばる子
    - ②習慣(学習・運動・生活)を身につけ鍛える子 ③自分の安全は自分で守る子
- (3) 目指す教師像 ・学び続ける教師 働きかける教師 希望を語る教師のいる学校
  - ◇「子どもの可能性を追求し、高い専門性と使命感をもって働きかける教師」
    - ①子どものよさを活かし伸ばす(子どもの事実に学ぶ姿勢)
    - ②気づく目、感じる心、実践する力、寄り添う姿勢で指導する



(子どもの中にこそ深いものがあるという構え)

③教員としての資質・指導力の向上に日々研鑽し授業提案する

(教科の特質や本質に楽しさや価値を見出す研修)

(4) 本年度の指導の重点・努力点

①確かな学力を育成する授業の改善・創造に努める

→主体的に学び豊かに表現できる児童を育てる小中一貫教育の推進

②豊かな心をはぐくみ、規律ある態度の育成に努める

→積極的な生徒指導の推進と学級経営の充実

③すこやかでたくましい体と心の育成に努める →運動の習慣化と健康・安全の確保

④保護者・地域との絆を繋ぎ、地域とともにある学校づくりに努める

⑤安全で潤いのある学校環境づくりに努める

⑥危機管理体制の確立と徹底 →共通理解、共通行動に支えられた職場づくりに努める

5 研修課題 「自分の考えや思いをいきいきと表現できる児童の育成」

～「確かな国語力」を高める指導法の工夫改善～

(1) めざす児童像

低学年 ・大事な事を落とさないで、最後までしっかり話したり、聞いたりできる子

・伝えたいことを進んで書くことができる子

・楽しんで読書できる子

中学年 ・自分の感じたことや考えたことを表現できる子

・友だちと関わり合う中で、自分や友だちの考えのよさに気づく子

・進んで読書する子

高学年 ・自分の考えや思いをもち、表現できる子

・交流を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる子

・本に興味関心を持ち、進んで読書できる子

(2) 研修の方向性

①本校児童の実態を的確に把握し身につけるべき基礎的基本的な内容を明確にする。

②授業研究会を中心として、研修を進めていく。

③言語力、読みの力、伝え合う力(書く・話す・聞く)等、  
「確かな国語力」を総合的に高めていく。



(3) 各専門部の活動

①授業改善研究部 →単元構成、指導過程の研究

②指導計画研究部 →系統性の整理 基礎基本の明確化と具体化 年間指導計画の見直し

6 教 職 員

(校長) 大塚 健嗣 (教頭) 斉藤 嘉保

(教諭) 高野 桂子 染谷美弥子 鈴木真由美 加藤 弘 仁部 香織 柴崎 克之

田中 葉月 丸山 拓三 齋藤 君恵 野地和佳奈 工藤 将之 小出 由美

高澤 七帆 内藤 淑恵 山崎 裕美 佐藤 紘子 佐藤奈津子

(助教諭) 茂木 智昭 八木橋順子 (養護教諭) 秋庭 道恵 (事務主査) 大久保暢子

(町非常勤講師) 長浜 光代 (サポーター) 松村 清美 (学校用務補助員) 森 照子

(英語補助員) 成瀬 淳一

住所	〒345-0801 宮代町字百間 1105 番地	児童数	学級数	教職員数	創立年月日	開校 記念日
電話	0480(34)8480	315 名	13 名	24 名	昭和 56 年 4 月 1 日	5 月 1 日



校舎風景

## 1 本校の現状より

- (1) 本校では、宮代の教育「憧れを未来につなぎ、生きる力を育てる宮代教育の創造」の実現をめざし、「全力」の精神を諸活動の中で体現し、生徒・教職員・保護者が一体となり活力ある学校づくりに取り組んでいる。「組体操エッサッサ・創作ダンス」や「須賀中合唱」は、生徒はもちろんのこと、保護者や地域の方々にも、須賀中の伝統と誇りとして受けとめられている。学習面においては、指導法や評価の工夫・改善に努め、「確かな学力」の向上を図っている。
- (2) 隣接する須賀小学校と小中一貫教育の研究を進め、学習活動や生徒指導などの連携を深めている。特に、教職員が合同して授業研究や研修会を積極的に行い、小中異校種の相互理解をより一層深めてきた。今後は、小中それぞれ独自の特色ある教育活動をおりまぜながら推進していきたい。
- (3) 地域の外部指導者による部活動指導など、学校・家庭・地域社会が連携を図り、地域に根ざした教育活動の推進に努めている。今後、授業や学校行事を中心に学校を公開し、開かれた学校づくりを推進する。また、PTAや学校応援団などからの支援を積極的に受け入れていきたい。

## 2 学校教育目標 「全力で、最善の生き方を追求する生徒」

合い言葉 「全力」

- 具体的指標 ○自ら学び、考える ○自他を思いやれる  
○すすんで奉仕する ○健康でねばり強い



## 3 学校経営方針

- (1) 全教職員が積極的に学校経営に参画し、学校教育目標の具現化を図る。
- (2) 生徒の実態や地域の特性を生かし、学習指導要領および教育課程編成要領に基づいた適切な教育課程の編成・実施・評価に努める。
- (3) 確かな学力を育むために、指導・支援を工夫した授業の改善に努め、主体的に学習に取り組む意欲・態度の育成に努める。特に学習意欲の喚起・継続を目指す。
- (4) ノーマライゼーションの精神を大切にし、生徒一人一人のよさやとりえを伸ばし、心豊かで自律ある生徒の育成を図る。
- (5) 道徳教育の一層の充実を図り、心豊かな生徒の育成に努める。
- (6) 望ましい人間関係への支援や教育相談活動を充実させ、積極的な生徒指導の推進による生きがいのある学校生活の実現を目指す。
- (7) 教育公務員としての自覚を常に持ち、学校課題の解決を図るための校内研修を積極的に推進するなど専門職としての資質向上に努める。
- (8) 生徒の豊かな心を醸成するため、気づきの清掃や整理整頓の励行、ボランティア活動などを通して、潤いがあり安心して学べる学校環境とスポーツや文化の創造できる教育環境づくりに努める。
- (9) 生徒の自主的な活動、生徒会活動、学校行事等を通じて自治的活動能力を育成する。
- (10) 伝統ある学校行事の継続と発展に努め、生徒が主体となる体験活動を通じた人間づくりを推進する。
- (11) 保護者や地域社会との一層の連携を目指し、PTAや学校応援団による学校支援の場を広げ、開かれた学校づくりに努める。

## 4 今年度の重点・努力点

### 平成25年度の重点・努力点

【自信と誇りのもてる学校】  
**教育目標 『全力で、最善の生き方を追求する生徒』**  
**合い言葉 『全 力』**



学校の指針

生徒の目標

### ☆学習意欲の高揚による学力向上

- 1 **確かな学力を育む**・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **授業に集中**  
 ○「思考力、判断力、表現力など」の向上 [指導方法の工夫・改善]  
 ○教育に関する3つの達成目標の定着 [基礎・基本の徹底]  
 ○主体的に学習に取り組む態度の育成 [家庭学習の習慣づくり]

### ☆生徒の心を醸成し、居がいのある学校にする

- 2 **望ましい人間関係へ支援**・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **上手に表現**  
 ○温かな人間関係の構築 [望ましい人間関係づくり]  
 ○相互の信頼関係の構築 [明るいあいさつの励行]

### ☆潤いある環境を整え、落ち着きのある学校

- 3 **潤いある教育環境の整備**・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **すすんで奉仕**  
 ○主体的に取り組む奉仕活動の充実 [気づきの清掃・ちょボラ]  
 ○成長がわかる環境づくり [継続的な掲示の工夫]

### ☆伝統に工夫を重ね、愛情と誇りを育てる

- 4 **体験活動への積極的支援**・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **伝統の継承・発展**  
 ○伝統ある行事の継承と発展 [感動の文化祭・運動会]  
 ○体育的活動、体験的活動を通じた人間づくり [ふれあい重視の諸行事・部活動]  
 ○生きる力を育む交流活動の充実 [小・中合同事業への積極的参加]

## 5 研修課題

研究主題 「学ぶ意欲を高め、確かな学力をはぐくむ研究」  
 ～「思考力・判断力・表現力など」の育成を通して（定着・充実）～

## 6 教職員

〔校長〕内田洋一〔教頭〕小川登志雄〔主幹教諭〕勿木昌宣〔教諭〕佐村孝次、山西美由紀、石井郁子、佐々木友之、豆井麻美、千浦成子、白山裕子、長瀬 翼、菊野あつ子、横山啓太、平井幸雄、山納智子、井上 彰、坂口徳平、(県非常勤講師)高山泰輔、宗 真理子、(町非常勤講師)加藤裕美〔養護教諭〕秋山佐登美〔事務主幹〕篠崎裕紀子〔学校用務員〕金子朝子〔ALT〕アーネスト・ガウエイ〔さわやか相談員〕齋藤香織〔ボランティア相談員〕針谷基末〔スクールカウンセラー〕佐藤栄子〔学習支援員〕小林 尚

所在地	〒345-0831 宮代町大字須賀1426-1	児童生徒数	学級数	教職員数	創立年月日	開校記念日
電話番号	0480-33-1326	243	9	28	昭和22年4月1日	4月16日

# 宮代町立百間中学校



「はじける笑顔 深い友情 感謝の百中生」が集う学校

## 1 めざす学校像

### 信頼に満ちあふれ、たゆまぬ進化を続ける学校

#### ○信頼の絆で結ばれた学校

生徒と教職員、生徒同士、教職員同士、学校と家庭、学校と地域等学校内外の関係が相互の信頼を基盤として成り立ち、太い絆で結ばれた学校

#### ○進化を続ける学校

66年の歴史と伝統を重んじながら、社会の潮流を敏感に把握し、積極的に新しい教育文化を取り入れる柔軟性をもった学校

## 2 学校教育目標（めざす生徒像）

#### ○進んで学習する生徒

・自ら課題をもち、意欲的に学ぶ生徒 知 力

#### ○仲よく助けあう生徒

・笑顔で心豊かに認め合い、協調し、責任や役割を果たす生徒 徳 力

#### ○心身を鍛える生徒

・生活習慣・健康・体力を備え、誇れる生き方を追求する生徒 体 力

## 3 望まれる教師像（生徒に・保護者に・地域社会に）

○生徒の成長に寄り添い、生徒にやる気を起こさせる向上心と意欲ある 情熱ある教師

○生徒の個性を大切にし、基礎基本を大事にする 指導力ある教師

○生徒のために努力し、喜びを感じることができる 人間性豊かな教師

○組織の一員としての自覚を持ち、教育公務員として自らを律する 使命感ある教師

○時代の変化を感じ取り、柔軟に新しい自分を創っていく 創造性豊かな教師

## 4 学校経営方針

#### ○地に足のついた着実な日々の実践

教育の目的を踏まえ、教育の目標を実現するための学校教育の役割を自覚し、日々の教育活動の一層の改善・充実を図る。

#### ○伝統の継承と進化

伝統とは、形や形式ではなくその学校が受け継ぐ魂である。本校に学ぶ生徒、働く教職員が、伝統の継承と進化を担うという喜び・自覚・責任を感じられる学校づくりを目指す。

#### 学校経営の重点・

- ・組織力を結集して学校教育目標の具現を目指す
- ・創意工夫を生かした教育課程の編成・実施・検証・改善に努める
- ・学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善を推進する
- ・校内研修を積極的に推進し、専門職としての資質の向上に努める

- ・生徒一人一人のよさを認め伸ばし、規律ある心身ともに健やかな生徒の育成に努める
- ・学習環境を整え、美しく安全な学校づくりに努める
- ・協力・協働をとoshi、家庭や地域社会と連携を強化し、開かれた学校づくりに努める

## 5 指導の重点

### (1) 基本姿勢

学習指導と学年・学級経営の充実を図り、規律ある温かい集団づくりに努め、「知・徳・体」のバランスの取れた生徒の育成を目指す。

### (2) 今年度の重点

①集団の中の個を生かす学年・学級経営の充実	⑨命を大切にする健康・安全教育の推進
②確かな学力をつける学習指導の充実	⑩人権意識の高揚を図る人権教育の充実
③積極的な生徒指導の推進	⑪特別支援教育の充実
④生き方指導としての進路指導・キャリア教育の推進	⑫国際化に対応する国際理解教育の推進
⑤豊かな心をはぐくむ道德教育の推進	⑬情報化に対応する情報教育の推進
⑥創意工夫を生かした総合的な学習の時間の改善・充実	⑭身近なできることから取り組む環境教育の推進
⑦実践的行動力を高める特別活動の推進	⑮思いやりの精神をはぐくむボランティア・福祉教育の充実
⑧一人一人の生徒の自己実現を目指す学校教育相談の推進	⑯本好きを育てる学校図書館教育の推進
	⑰個別の指導計画に沿った自立活動の充実

## 6 学校研修課題

「主体的に生きる生徒の育成」4年次

～主体的に学び豊かに表現できる生徒の育成～

《委嘱研究》「小中一貫教育推進モデル校事業」（埼玉県教育委員会）

「学校研修課題に基づく研究」（宮代町教育委員会）

## 7 教職員

(校長) 小島 久和 (教頭) 鎌田 充子

(教諭) 大槻 功 小山敏之 濱口昌重 松永香織 新井典子 清水美津子

石川清子 渡邊真澄 辻浦牧人 齊藤三鈴 税所三代子 高野陽平

木村 朗 平原隆範 山口澄子 田村陽子 齋籐あゆみ 山本雅也

(養護教諭) 滝澤 明美 (事務主任) 米丸理子 (栄養技師) 野田裕佳理・

東川啓子 (学校用務補助員) 末永佑衣 (非常勤講師) 千代裕子 出井祐未

古川二郎 (さわやか相談員) 山黒 繁 (学習支援員) 千葉芳夫 (スクールカ

ウンセラー) 佐藤栄子 (ボランティア相談員) 富田弘子 (ALT) ディ

ビッド・マクドウェル (給食配膳員) 篠原洋子 高橋悦子 大西ちいみ

所在地	〒345-0823 宮代町宮代 3-7-38	生徒数	学級数	教職員	創立記念日	開校記念日
電話番号	0480-32-0142	294	10	36	昭和22.4.1	5月1日



# 宮代町立前原中学校

[花と緑と歌声の響く美しい学校]



## 1 本校の特色

- (1) 花と緑に囲まれた安全で美しい教育環境の中で、  
一人一人の長所を伸ばし、主体的創造的に生きる生徒を育成している。
- (2) 基礎・基本を重視し、わかる授業に努め、確かな学力の向上を図っている。
- (3) 特別支援学校等との交流会や福祉体験活動を通して、福祉・ボランティア教育の充実を図り、  
心豊かな生徒を育成している。
- (4) 保健・安全教育の充実に努め、歯科コンクールで16・18・19年度に最優秀校（17・20～24年度  
に優秀校）になる。

## 2 学校教育目標

『自主・敬愛』

- ◎深く考え、自己を高めようとする人
- ◎思いやりのある心を持ち、誠実に生きる人
- ◎明るく、たくましく、やりぬく人

## 3 学校経営方針（基本理念）

### (1) 「居がい・生きがい・頼りがい」のある学校

- ・学校は生徒にとって、自分の長所や良さを認められ伸ばすことによって、生徒が「居がい」を感じられる学校。
- ・学校は教職員にとって、自信と誇りに裏付けられた「生きがい」を感じられる学校。
- ・学校は保護者と地域に支えられ、保護者と地域の方々にとっても頼りがいのある学校。

### 【目指す学校像】

- ①生徒にとって「居がい」のある学校 ②教職員にとって「生きがい」のある学校
- ③保護者や地域の方々にとって「頼りがい」のある学校

### (2) 最大の教育環境は教職員

- ・教師は教育に携わるものとして、常に授業の工夫・改善に取り組み、楽しく分かる授業を行わなければならない。
- ・教師は豊かな人間性を養い、生徒との心のふれあいに努めるとともに、生徒に対しけじめと規律のある生活態度の育成をしなければならない。
- ・生徒の良さや長所を尊重し生徒が将来への希望を育む教育活動を展開していかななければならない。

### 【目指す教師像】

- ①授業の工夫・改善に取り組む教師 ②心豊かで使命感を持つ教師 ③生徒の長所を伸ばす教師

### (3) 適宜・適切・組織的な取組

- ・学校教育目標実現のため、全教職員が一丸となって積極的に学校経営に参画しなければならない。
- ・時をはずさず、状況を踏まえた組織的な取組を行わなければならない。
- ・情報の発信と情報の共有に努めなければならない。

### (4) 保護者・地域・小学校との絆の構築

- ・小中一貫教育の充実を図るとともに、保護者・地域・小学校との双方向での教育力の活用を図らなければならない。
- ・公立学校として地域社会への貢献を行わなければならない。

#### 4 本年度の目指す学校像

ミッション	スローガン	合言葉
「自主・敬愛の精神に満ちた 生徒の育成」	「自主・敬愛の精神で長所を伸ばす」	「長所を伸ばす」

#### 5 具体目標（目指す生徒像）

##### (1) 学習全般

①授業のルールを守っている生徒

②積極的に発表している生徒

【宮代支援学校交流会】→

③予習・復習をしている生徒



(2) 道徳 ④よりよい生き方を求め、正しく判断し、行動している生徒

(3) 体育 ⑤体を動かすことが好きな生徒 ⑥体力目標を達成しようとしている生徒

(4) 特別活動 ⑦学級でルールを守り、楽しく充実した学級をつくらうとしている生徒

⑧係、委員会活動や生徒会活動に進んで参加・協力している生徒

⑨学校行事では、皆と一緒にになって行事を成功させようとしている生徒

(5) 生徒指導 ⑩いじめや仲間はずれもなく、楽しく生活している生徒

⑪生活のきまりを守り、規律ある生活ができる生徒

⑫気持ちよくあいさつできるよう心がけている生徒

(6) 進路指導・キャリア教育 ⑬将来の職業を考えながら進路を考えようとしている生徒

(7) 環境教育 ⑭ゴミの分別や節電・節水に取り組んでいる生徒

⑮学校環境の向上に取り組んでいる生徒

(8) 学校安全教育 ⑯交通ルールを守っている生徒

(9) 人権教育 ⑰自他の人権を尊重している生徒

(10) 学校図書館教育 ⑱本が好きで、よく読書している生徒

(11) ボランティア・福祉教育 ⑲人のために活動している生徒

(12) 特別支援教育 ⑳困っている人を気軽に手助けしている生徒

(13) 教育相談 ㉑困った場合は、一人で悩まず大人に相談して、今は困っていない生徒

(14) 国際理解教育 ㉒日本の文化や外国の文化に関心をもっている生徒

(15) 学校保健 ㉓「早寝・早起き・朝ご飯・そして歯磨き」が実行できている生徒

(16) 情報教育 ㉔携帯電話やインターネットを使うとき、遭遇するかもしれないトラブルや危険性を知り、正しく使用している生徒

(17) 学校給食 ㉕給食の準備・片付けが素早くできている生徒

#### 6 学校研修課題 『学習指導要領の目標に準拠した評価と指導の在り方』（3年次）

～主体的に学ぶ態度の育成をめざして～

#### 7 教職員（5月1日現在）

(校長) 小暮 滋 (教頭) 増田雅行(主幹教諭) 香山和昭 (教諭) 杉田和樹/田中陽子/梅田忠義 / 八木橋孝雄/水野友貴/櫻井幸子/森山久/奥住佳/森田典子 鶴田美千代/菱沼良夫/阿部仁美/安藤雅彦/橋本淳/籠宮久子 (非常勤講師) 塩澤雄基 横田日出夫 宗真理子 (養護教諭) 大嶋純子(事務主任) 田中宏行 (学校用務員) 元岡操 (さわやか相談員) 木元宏至(ボランティア相談員) 鈴木静枝 (スクールカウンセラー) 佐藤 栄子 (ALT) チャールズ・シュナイバー (学習支援員) 石橋要子 (配膳員) 笹川千江子/金子喜代美

所在地	〒345-0815 宮代町中461番地	生徒数	学級数	教職員数	創立記念日	開校記念日
電話番号	0480-34-0631	238	9	30	昭和58年4月1日	6月5日